

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円(年額)
*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》

<8月長沼町集会>

2日目、町内見学の1コマ
果樹農園のテラスにて

8/10-11、町民会館+現地見学
には延 250名が学びあい交流
しました。遠路参加者に感謝!

INDEX

- P1: 巻頭言
 - P2: ヒューマンイラスト 会費・集会
 - p3: ↓ / 小学校設立運動
 - p4-5: 長沼集会レポート
 - p6: スクール・サマーキャンプ
 - p7: ↓、海・農場・釣り・
 - p8: エッセー、カンダー、後記
- [普及チラシなど]

自由な学びで勉強嫌いを生み出さない教育を

～「新しい小学校を『市民立』で設立しよう! III」～

認定NPO法人・代表理事 大塚 勲

国連子どもの権利委員会は日本政府に対して、“競争的な社会から「子ども期」を守り、「子どもがその子ども期を享受する」ことを確保するための”措置を勧告しているが、日本の競争的・画一的な教育はむしろ強まっているのが現状である。「子ども期」の成長・発達にとって“遊び”とならんで大事な“学び”について考えてみたい。

子どもは本来新しいことに挑戦したり、新しいことを知ったりすることが大好きで、自分が興味を持った分野に対しては大人が驚くような能力を発揮することも珍しくない。多くの子どもは期待と希望に胸躍らせて小学校入学を迎える。しかし、学校で学年が上がるにつれて勉強が分からなくなる子や勉強嫌いになる子がどんどん増え、不登校になる子も増えていくのはなぜなのだろうか。

使う教科書や教材が決められ、授業方法や進み方も制約されている学校の大人数の一斉授業は、子どもの成長・発達の差や様々な特性への配慮、子どもの内面からの意欲・関心に応える学びの活動をほとんど不可能としている。更に、子どもを数値で成績評価・順位づけすることで“できる子”や“できない子”を生み出し、子どもの“わかる喜び”、“仲間とともに発見したり創ったりする楽しさ”を損なっているのである。勉強嫌いを生み出す要因は、知識偏重の押し付け授業と画一的な基準による一面的な数値評価が大きいのではないだろうか。

今2021年の「自由な小学校」設立に向けて本格的な取り組みがスタートしている。子どもたちと大人である私たちが知恵を出し合い汗を流して作る新しい学校の自由な学びで、勉強嫌いを生み出さない教育の手本をこの北海道でも示していきたいものだ。